

令和2年 伊根町議会の概要

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)



行政情報配信システム「いなばん」

伊根町議会

〒626-0493
京都府与謝郡伊根町字日出651番地
TEL 0772-32-0300
FAX 0772-32-1333
e-mail gikai@town.ine.lg.jp

***** 目 次 *****

議場見取図	1
歴代正副議長	2
歴代町長・副町長（助役）・教育長（収入役）	4
議会の構成	5
1 機構	5
2 議会構成	5
常任委員会 議会運営委員会 特別委員会	
一部事務組合 監査委員	
3 議員・職員名簿	8
4 議員の構成	9
党派別 年齢別 在職年数別	
5 議員報酬の推移	9
6 町長等給与の推移	10
議会費予算	11
議会活動	12
1 会議の状況	12
定例会及び臨時会 常任委員会 特別委員会	
議会運営委員会 全員協議会	
2 管外行政視察	13
3 行政視察来町	13
4 審議の状況	14
付議事件及び審議結果、議案区分別審議結果、議決内容の概要 （条例、予算、人事、請負契約、その他、 専決、決算、一般会計当初予算の概要）	
一般質問	30
意見書	48
発議	48
請願・陳情	49
議会日誌	50

** 議場見取図 **

(令和2年12月31日現在)

議 長 濱野 茂樹

事務局長	主 事
倉 正人	千賀さゆり

総 務 課 長	企画観光 課 長	地域整備 課 長
鍵 良平	千賀和孝	白須 剛

会 計 管理者	代表監査 委 員	教育次長	教育長
須川清広	坂中宗一郎	石井明博	岩佐好正

町 長	副町長	住民生活 課 長	保健福祉 課 長
吉本秀樹	上山富夫	増井和彦	石野 靖

1 番	2 番
和 田 義 清	上 辻 亨

3 番	4 番
長 谷 川 貴 之	中 嶋 章

5 番	6 番
山 根 朝 子	大 谷 功

7 番	8 番
松 山 義 宗	佐 戸 仁 志

9 番
濱 野 茂 樹

傍 聴 席

歴代正副議長

議長

	氏名	就職年月日	退職年月日
初代	品川 偉太郎	S 29. 12. 6	S 33. 11. 30
2代	上山 富之助	33. 12. 5	37. 11. 30
3代	石野 弥吉	37. 12. 5	41. 11. 30
4代	向井 富夫	41. 12. 8	45. 11. 30
	向井 富夫	45. 12. 8	49. 11. 30
	向井 富夫	49. 12. 10	53. 11. 9
5代	石倉 佐一郎	53. 12. 8	55. 12. 15
6代	山田 章	55. 12. 15	57. 11. 30
7代	上辻 康一	57. 12. 6	61. 11. 30
8代	中村 清志	61. 12. 5	H 2. 11. 30
	中村 清志	H 2. 12. 6	6. 11. 30
9代	向井 義昶	6. 12. 7	10. 11. 10
10代	藤原 利公	10. 12. 7	14. 11. 30
	藤原 利公	14. 12. 3	18. 11. 30
11代	宮下 愿吾	18. 12. 5	22. 11. 30
	宮下 愿吾	22. 12. 3	26. 11. 30
12代	泉 敏夫	26. 12. 5	30. 11. 30
13代	上辻 亨	30. 12. 4	R 2. 12. 9
14代	濱野 茂樹	R 2. 12. 9	現在



第14代 議長 濱野 茂樹

副議長

	氏 名	就職年月日	退職年月日
初代	筒井 寛四郎	S 2 9 . 1 2 . 6	S 3 3 . 1 1 . 3 0
2代	谷口 庄八	3 3 . 1 2 . 5	3 7 . 1 1 . 3 0
3代	下野 清	3 7 . 1 2 . 5	4 1 . 1 1 . 3 0
4代	豊田 清治	4 1 . 1 2 . 8	4 5 . 1 1 . 3 0
5代	中川 久左衛門	4 5 . 1 2 . 8	4 9 . 1 1 . 3 0
6代	石倉 佐一郎	4 9 . 1 2 . 1 0	5 3 . 1 1 . 3 0
7代	山田 章	5 3 . 1 2 . 8	5 5 . 1 2 . 1 5
8代	上辻 康一	5 5 . 1 2 . 1 5	5 7 . 1 1 . 3 0
9代	倉野 巖	5 7 . 1 2 . 6	6 1 . 1 1 . 3 0
10代	向井 義昶	6 1 . 1 2 . 5	H 2 . 1 1 . 3 0
	向井 義昶	H 2 . 1 2 . 6	6 . 1 1 . 3 0
11代	藤原 利公	6 . 1 2 . 7	1 0 . 1 1 . 3 0
12代	石倉 勲	1 0 . 1 2 . 7	1 4 . 1 1 . 3 0
13代	倉 秀樹	1 4 . 1 2 . 3	1 7 . 1 . 2 4
14代	永井 將義	1 7 . 1 . 3 1	1 8 . 1 1 . 3 0
15代	倉 秀樹	1 8 . 1 2 . 5	2 2 . 1 1 . 3 0
16代	奥野 良一	2 2 . 1 2 . 3	2 6 . 1 1 . 3 0
17代	佐戸 仁志	2 6 . 1 2 . 5	2 8 . 1 2 . 2
18代	和田 義清	2 8 . 1 2 . 6	3 0 . 1 1 . 3 0
19代	濱野 茂樹	3 0 . 1 2 . 4	R 2 . 1 2 . 9
20代	上辻 亨	R 2 . 1 2 . 9	現 在



第20代 副議長 上辻 亨

歴代 町長・副町長(助役)

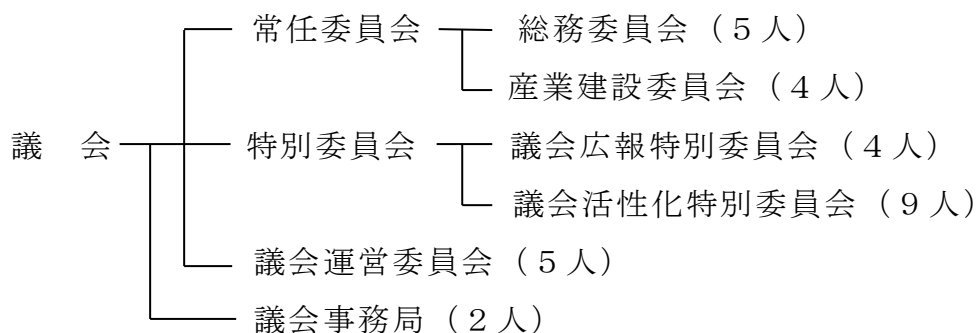
町 長			副 町 長		
	氏 名	在職期間		氏 名	在職期間
初代	上林 甫夫	S 29.11.25 33.11.24	初代	三野 清治	S 29.12.14 33.12.13
	上林 甫夫	33.11.25 37.11.24		三野 清治	33.12.14 37. 9.30
2代	三野 清治	37.11.25 41.11.24	2代	向井 一男	37.12.14 41.12.13
	三野 清治	41.11.25 45.11.24		向井 一男	41.12.14 45.12.13
	三野 清治	45.11.25 49.11.24		向井 一男	45.12.14 49.12.13
	三野 清治	49.11.25 53.11.24		向井 一男	49.12.14 53.12.13
3代	向井 富夫	53.11.25 57.11.24	3代	出口喜美治	53.12.14 57.12.13
4代	倉 正二	57.11.25 61.11.24	4代	三野 義雄	57.12.14 61.10.15
5代	三野 義雄	61.11.25 H 2.11.24	5代	奥野 隆正	61.12.16 H 2.12.15
	三野 義雄	2.11.25 6.11.24	6代	三野 幸生	2.12.16 6.12.15
	三野 義雄	6.11.25 10.11.24		三野 幸生	6.12.16 10.12.15
6代	向井 義昶	10.11.25 14.11.24	7代	古板 利一	10.12.16 14.12.15
	向井 義昶	14.11.25 18.11.24		古板 利一	14.12.16 18.12.15
7代	吉本 秀樹	18.11.25 22.11.24	8代	小西 俊朗	18.12.16 22.12.15
	吉本 秀樹	22.11.25 26.11.24		小西 俊朗	22.12.16 26.12.15
	吉本 秀樹	26.11.25 30.11.24		小西 俊朗	26.12.16 30.12.15
	吉本 秀樹	30.11.25 現 在	9代	上山 富夫	30.12.16 現 在

※ 地方自治法の改正により、平成19年4月1日から「助役」は「副町長」に改められている。

議会の構成

(令和2年12月31日現在)

1 機 構



2 議会構成

議長 濱野 茂樹

副議長 上辻 亨

◎ 常任委員会

委員会名	委員長	副委員長	委員
総務委員会	松山 義宗	山根 朝子	中嶋 章 濱野 茂樹 上辻 亨
産業建設委員会	佐戸 仁志	大谷 功	長谷川貴之 和田 義清

◎ 議会運営委員会

委員長	副委員長	委員
上辻 亨	松山 義宗	佐戸 仁志 大谷 功 和田 義清

◎ 特別委員会

委員会名	委員長	副委員長	委員
議会広報特別委員会 任期 R2.12 ~ R4.11	松山 義宗	山根 朝子	上辻 亨 中嶋 章
議会活性化特別委員会 平成30年12月14日設置	上辻 亨	大谷 功	松山 義宗 長谷川貴之 山根 朝子 濱野 茂樹 佐戸 仁志 中嶋 章 和田 義清

◎一部事務組合議会等

宮津与謝消防組合議会議員	濱野 茂樹	松山 義宗
定時制高等学校伊根分校組合議会議員	佐戸 仁志 長谷川貴之	山根 朝子 松山 義宗
京都府後期高齢者医療広域連合議会議員	濱野 茂樹	
京都地方税機構議会議員	上辻 亨	
宮津与謝環境組合議会議員	上辻 亨	山根 朝子
議会選出監査委員 (平成30年12月12日)	和田 義清	

○親睦会

会長 濱野 茂樹
幹事 上辻 亨 松山 義宗 佐戸 仁志 大谷 功
和田 義清

○会派別内訳

会派名	会派長	所 属 議 員
拓政会 (4人)	和田 義清	濱野 茂樹 上辻 亨 長谷川貴之
日本共産党 (2人)	大谷 功	山根 朝子
自友会 (2人)	松山 義宗	佐戸 仁志
無会派 (1人)		中嶋 章

○会派の経過

昭和61年12月 → 公友会(12名)
日本共産党伊根町会議員団(2名)

平成6年12月 → 公友会(11名)
日本共産党伊根町会議員団(3名)

平成13年4月 → 公友会(8名) 菊の会(2名)
日本共産党伊根町会議員団(3名)
無会派(1名)

平成14年12月 → 公友会(7名) 菊の会(2名)
日本共産党伊根町会議員団(3名)

平成18年12月 → 公友会(3名) 新生クラブ(3名)
日本共産党伊根町会議員団(3名)
無会派(1名)

平成22年12月 → 政風会(4名) 新生クラブ(2名)
日本共産党伊根町会議員団(2名)

平成 23 年 1 1 月	→	無会派(2名) 政風会(5名)	新生クラブ(3名)
平成 24 年 3 月	→	無会派(2名) 政風会(4名)	新生クラブ(3名)
平成 26 年 1 2 月	→	無会派(3名) 拓政会(6名)	日本共産党(2名)
平成 30 年 1 2 月	→	無会派(1名) 拓政会(4名)	日本共産党(2名)
令和 元年 1 1 月	→	無会派(3名) 拓政会(5名)	日本共産党(2名)
令和 2 年 1 1 月	→	無会派(2名) 拓政会(3名)	日本共産党(2名)
令和 2 年 1 2 月	→	自友会(2名) 拓政会(4名)	無会派(2名)
		自友会(2名)	日本共産党(2名)
			無会派(1名)

3 伊根町議会 議員名簿 (議員定数 9名、現在数9名)
(令和2年12月31日現在)

議席 番号	氏名	年齢	住所	当選 回数	電話 (0772)	職業	党派
1	和田 義清	51	本庄上1026-1	3	33-0717	衣料品小売業	無所属
2	上辻 亨	54	菅野2130	3	33-0232	造園業	無所属
3	長谷川貴之	48	蒲入1120-12	1	33-0155	会社役員	無所属
4	中嶋 章	66	六万部71-4	1	32-1433	施設管理業	無所属
5	山根 朝子	62	新井619	2	32-0603	自営業	日本共産党
6	大谷 功	57	大原895	6	32-1085	農業	日本共産党
7	松山 義宗	59	野村1704	3	33-0008	農業	無所属
8	佐戸 仁志	59	日出473	4	32-0518	電気設備会社社長	無所属
9	濱野 茂樹	46	津母27	3	32-0307	会社員	自由民主党

○議員任期 自平成30年12月1日～至令和4年11月30日

議会事務局職員名簿

職名	氏名	就職年月日
事務局長	倉 正人	H29.4.1
主事	千賀 さゆり	H31.4.1



4 議員の構成

(令和2年12月31日現在)

(1) 党派別議員数

党派別	無所属	日本共産党	自由民主党	合 計
人 員	6人	2人	1人	9人

(2) 年齢別議員数

年齢段階	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳~	合 計	平均年齢	最年長
							最年少
人 員	2人	5人	2人	0人	歳 502	歳 55.8	66歳 46歳

(3) 在職年数別議員数

年区分	0~3年	4~7年	8~11年	12~15年	16~19年	20~23年	合 計
人 員	2人	1人	4人	1人	0人	1人	9人

5 議員報酬の推移

(円)

適用日 区 分	H25. 4. 1	H22. 4. 1	H9. 4. 1	H8. 4. 1	H7. 4. 1	H5. 4. 1	H4. 4. 1	H3. 4. 1
議 長	228,000	212,040	228,000	223,000	216,000	210,000	195,000	190,000
副議長	173,000	160,890	173,000	170,000	165,000	160,000	148,000	144,000
委員長	156,000	145,080	156,000	154,000	150,000	146,000	136,000	133,000
議 員	148,000	137,640	148,000	146,000	142,000	138,000	128,000	125,000

〈議員報酬〉平成22~24年度 7%削減

〈期末手当〉平成21年度 1.40月分削減

平成18~20年度 1.35月分削減

平成17年度 0.55月分削減

議員定数の推移 平成14年11月迄→14人
平成14年12月～→12人
平成18年12月～→10人
平成30年12月～→9人

6 町長等給与の推移

(円)

適用日 区分	H25. 4. 1	H22. 4. 1	H16. 4. 1	H14. 4. 1	H13. 4. 1	H9. 4. 1	H8. 4. 1	H7. 4. 1
町長	690,000	641,700	621,000	676,000	690,000	690,000	680,000	660,000
副町長	563,000	523,590	523,000	551,000	563,000	563,000	555,000	542,000
収入役						527,000	520,000	510,000
教育長	527,000	490,110	500,000	516,000	527,000	527,000	520,000	510,000

〈給与〉平成22～24年度 7%削減

平成16～21年度 町長10%削減、副町長7%削減、教育長5%削減

平成14～15年度 2%削減

〈期末手当〉平成22年度 町長 0.1月分削減

平成18～21年度 町長2.0月分削減

副町長(助役)1.8月分削減

教育長1.5月分削減

平成17年度 0.55月分削減

議 会 費 予 算 (現計予算額は12月末現在)

(単位：円)

科 目	令和2年度		令和元年度	
	当初予算額	現計予算額	当初予算額	現計予算額
報 酬	17,436,000	17,436,000	17,436,000	17,436,000
給 料	6,606,000	4,595,000	6,662,000	4,566,000
職員手当等	10,235,000	10,262,000	10,102,000	10,384,000
共 済 費	7,946,000	7,596,000	8,171,000	7,832,000
報 償 費	30,000	30,000	30,000	30,000
旅 費	1,154,000	1,154,000	1,133,000	1,131,500
交 際 費	120,000	120,000	90,000	90,000
需 用 費	628,000	628,000	622,000	622,000
役 務 費	424,000	424,000	383,000	383,000
委 託 料	0	0	0	0
使用料及び賃借料	20,000	20,000	20,000	20,000
備品購入費	0	0	0	0
負担金補助及び交付金	229,000	229,000	229,000	230,500
計	44,828,000	42,494,000	44,878,000	42,725,000
予 算 総 額	3,032,000,000	3,673,084,000	3,088,000,000	3,392,068,000
議会費の占める割合	1.48%	1.16%	1.45%	1.26%

議 会 活 動

1 会議の状況

(1) 定例会及び臨時会

区 分	会 期			本会議 日 数 (日)	一般 質問 (人)	傍聴人 (人)
	開会月日	閉会月日	会期日数 (日)			
3月定例会	3月 4日	3月18日	15	3	6	3
6月定例会	6月 9日	6月18日	10	2	4	3
第1回臨時会	7月29日	7月29日	1	1	—	0
9月定例会	9月 2日	9月18日	17	3	4	4
第1回臨時会	11月16日	11月16日	1	1	—	0
12月定例会	12月 9日	12月18日	10	2	4	16
計	定例会 4回 臨時会 2回		54	12	18	26

(2) 常任委員会

委員会名	会議 日数	審議 件数	審 議 結 果				出席状況 (延)
			採 択	趣旨採択	不 採 択	審議未了	
総 務	6日	0件	—	—	—	—	30人
産業建設	8日	0件	—	—	—	—	32人

(3) 特別委員会

委員会名	会議日数	出席状況
広 報	13日	51人
議会活性化	5日	45人

(4) 議会運営委員会

事 件	会議日数
議会定例会及び臨時会の運営その他	7日

(5) 全員協議会

開催日	事 件	会議日数
3月 4日	○伊根町地域福祉計画の策定について ○伊根町子ども・子育て支援事業計画の策定について ○伊根町介護サービス事業経営戦略の策定について ○新型コロナウイルス感染症対策について	1日
3月 6日	○令和2年度当初予算について	1日
3月18日	○第2期伊根町まち・ひと・しごと創生 地域総合戦略について	1日
6月 9日	○伊根町道路整備計画の見直しについて	1日
6月18日	○タブレットの今後の活用について	1日
9月 4日	○令和元年度歳入歳出決算について	1日
12月 2日	○株式会社伊根町ふるさと振興公社の精算について	1日
12月18日	○令和元年度地方創生推進交付金の実施結果報告について ○伊根町財政計画について	1日

2 管外行政視察 なし

3 行政視察来町 なし

4 審議の状況

(1) 付議事件及び審議結果

	付議事件					審議結果					
	町長提出	議員提出	その他	委員会報告	計	可決	否決不採択	同意他	認定	承認	採択
3月定例会	25	1			26	25		1			
6月定例会	31				31	8		13		10	
第1回臨時会	4				4	4					
9月定例会	8	1			9	7		1	1		
第2回臨時会	1				1	1					
12月定例会	18				18	17		1			
計	87	2			89	62		16	1	10	

(2) 議案区分別審議結果

区分		総数	可決	否決不採択	同意他	認定	承認	採択
町 長 提 出	条例	27	19				8	
	予算	31	29				2	
	決算	1				1		
	人事	15			15			
	契約	6	6					
	その他	7	6		1			
	(内専決)	(10)					(10)	
	計	87	60		16	1	10	
議員提出	意見書	2	2					
	条例							
	その他							
	計	2	2					
その他								
合計		89	62		16	1	10	

(3) 議決内容の概要

*** 条 例 ***

【町長提出】

議案番号	件名	議決日	結果
14	伊根町行政情報配信システム屋外拡声局整備事業分担金徴収条例の制定について 令和2年4月1日から施行し、施設整備の完了した会計年度の属する出納整理期間の末日をもってその効力を失う。	R2.3.4	原案可決
15	伊根町地域コミュニティに関する条例の制定について 令和2年4月1日から施行する。	R2.3.4	原案可決
16	伊根町職員の給与に関する条例及び職員の服務の宣誓に関する条例の一部改正について 令和2年4月1日から施行する。	R2.3.4	原案可決
17	伊根町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について 公布の日から施行する。	R2.3.4	原案可決
18	伊根町監査委員条例の一部改正について 令和2年4月1日から施行する。	R2.3.4	原案可決
19	伊根町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について 令和2年4月1日から施行する。	R2.3.4	原案可決
20	伊根町桜が丘運動公園の設置及び管理に関する条例の一部改正について 令和2年4月1日から施行する。	R2.3.4	原案可決
21	伊根町朝妻屋内運動場使用料条例の廃止について 令和2年3月31日から施行する。	R2.3.4	原案可決

議案番号	件名	議決日	結果
28	専決処分の承認を求めることについて (伊根町町税条例等の一部改正)	R2.6.9	承認
	公布の日から施行する。ただし、各号に掲げる規定は、当該各号に定める日から施行する。		
29	専決処分の承認を求めることについて (伊根町消防団員等公務災害補償条例の一部改正)	R2.6.9	承認
	令和2年4月1日から施行する。		
30	専決処分の承認を求めることについて (伊根町国民健康保険税条例の一部改正)	R2.6.9	承認
	令和2年4月1日から施行する。		
31	専決処分の承認を求めることについて (伊根町介護保険条例の一部改正)	R2.6.9	承認
	令和2年4月1日から施行する。		
32	専決処分の承認を求めることについて (伊根町町税条例の一部改正)	R2.6.9	承認
	公布の日から施行する。ただし、第2条の規定は、令和3年1月1日から施行する。		
33	専決処分の承認を求めることについて (伊根町国民健康保険条例の一部改正)	R2.6.9	承認
	公布の日から施行し、改正後の伊根町国民健康保険条例附則第3項から第8項までの規定は、傷病手当金の支給を始める日が令和2年1月1日から規則で定める日までの間に属する場合に適用することとする。		
34	専決処分の承認を求めることについて (伊根町介護保険条例の一部改正)	R2.6.9	承認
	公布の日から施行し、改正後の附則第8条の規定は、令和2年2月1日から適用する。		

議案番号	件名	議決日	結果
35	専決処分の承認を求めることについて (伊根町後期高齢者医療に関する条例の一部改正) 公布の日から施行し、改正後の第2条の規定は、傷病手当金の支給を始める日が令和2年1月1日から規則で定める日までの間に属する場合に適用することとする。	R2.6.9	承認
38	伊根町固定資産評価審査委員会条例及び伊根町行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部改正について 情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るための行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律等の一部を改正する法律(令和元年法律第16号)の施行の日から施行する。	R2.6.9	原案可決
39	伊根町国民健康保険税条例の一部改正について 令和2年1月1日から施行する。	R2.6.9	原案可決
40	伊根町奨学基金条例の一部改正について 公布の日から施行し、令和2年4月1日から適用する。	R2.6.9	原案可決
65	伊根町簡易水道給水条例の一部改正について 公布の日から施行する。	R2.9.2	原案可決
69	伊根町職員の給与に関する条例等の一部改正について 公布の日から施行する。	R2.11.16	原案可決
78	伊根町議会議員及び伊根町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について 令和2年12月12日から施行する。	R2.12.9	原案可決
79	伊根町職員の給与に関する条例等の一部改正について 令和3年4月1日から施行する。	R2.12.9	原案可決

議案番号	件名	議決日	結果
80	朝妻、本庄及び筒川財産区管理会協議の一部改正について 公布の日から施行する。ただし、第2条の改正規定は、令和5年8月1日から施行する。	R2.12.9	原案可決
81	伊根町国民健康保険税条例の一部改正について 令和3年1月1日から施行する。	R2.12.9	原案可決
82	伊根町健やか子育て医療費の支給に関する条例の一部改正について 公布の日から施行する。	R2.12.9	原案可決
83	伊根町滞在型体験観光まちづくり施設条例の一部改正について 令和3年4月1日から施行する。	R2.12.9	原案可決

*** 予 算 ***

議案番号	件 名	議決日	結 果
1	令和2年度伊根町一般会計予算	R2.3.18	原案可決
2	令和2年度伊根町国民健康保険特別会計予算	R2.3.18	原案可決
3	令和2年度伊根町簡易水道特別会計予算	R2.3.18	原案可決
4	令和2年度伊根町下水道事業特別会計予算	R2.3.18	原案可決
5	令和2年度伊根町財産区特別会計予算	R2.3.18	原案可決
6	令和2年度伊根町介護保険特別会計予算	R2.3.18	原案可決
7	令和2年度伊根町訪問看護事業特別会計予算	R2.3.18	原案可決
8	令和2年度伊根町後期高齢者医療特別会計予算	R2.3.18	原案可決
9	令和元年度伊根町一般会計第4回補正予算	R2.3.4	原案可決
10	令和元年度伊根町簡易水道特別会計第3回補正予算	R2.3.4	原案可決
11	令和元年度伊根町下水道事業特別会計第2回補正予算	R2.3.4	原案可決
12	令和元年度伊根町財産区特別会計第1回補正予算	R2.3.4	原案可決
13	令和元年度伊根町介護保険特別会計第3回補正予算	R2.3.4	原案可決
26	専決処分の承認を求めることについて (令和元年度伊根町一般会計第5回補正予算)	R2.6.9	承 認
27	専決処分の承認を求めることについて (令和2年度伊根町一般会計第1回補正予算)	R2.6.9	承 認

議案番号	件名	議決日	結果
36	令和2年度伊根町一般会計第2回補正予算	R2.6.9	原案可決
37	令和2年度伊根町国民健康保険特別会計第1回補正予算	R2.6.9	原案可決
57	令和2年度伊根町一般会計第3回補正予算について	R2.7.29	原案可決
58	令和2年度伊根町国民健康保険特別会計第2回補正予算について	R2.7.29	原案可決
59	令和2年度伊根町下水道事業特別会計第1回補正予算について	R2.7.29	原案可決
62	令和2年度伊根町一般会計第4回補正予算	R2.9.2	原案可決
63	令和2年度伊根町簡易水道特別会計第1回補正予算	R2.9.2	原案可決
64	令和2年度伊根町介護保険特別会計第1回補正予算	R2.9.2	原案可決
70	令和2年度伊根町一般会計第5回補正予算	R2.12.9	原案可決
71	令和2年度伊根町国民健康保険特別会計第3回補正予算	R2.12.9	原案可決
72	令和2年度伊根町簡易水道特別会計第2回補正予算	R2.12.9	原案可決
73	令和2年度伊根町下水道事業特別会計第2回補正予算	R2.12.9	原案可決
74	令和2年度伊根町財産区特別会計第1回補正予算	R2.12.9	原案可決
75	令和2年度伊根町介護保険特別会計第2回補正予算	R2.12.9	原案可決
76	令和2年度伊根町訪問看護事業特別会計第1回補正予算	R2.12.9	原案可決
77	令和2年度伊根町後期高齢者医療特別会計第1回補正予算	R2.12.9	原案可決

*** 人 事 ***

議案番号	件 名	議決日	結 果
25	教育委員会教育長の任命について 岩佐 好正	R2. 3. 18	同 意
41	伊根町固定資産評価員の選任について 増井 和彦	R2. 6. 9	同 意
43	農業委員会委員の任命について 小原 澄晴	R2. 6. 9	同 意
44	農業委員会委員の任命について 村井 英敏	R2. 6. 9	同 意
45	農業委員会委員の任命について 上山 徳和	R2. 6. 9	同 意
46	農業委員会委員の任命について 井上 一明	R2. 6. 9	同 意
47	農業委員会委員の任命について 一井 京一	R2. 6. 9	同 意
48	農業委員会委員の任命について 竹原 勇次郎	R2. 6. 9	同 意
49	農業委員会委員の任命について 山口 忠司	R2. 6. 9	同 意
50	農業委員会委員の任命について 大西 一彰	R2. 6. 9	同 意
51	農業委員会委員の任命について 小西 俊朗	R2. 6. 9	同 意
52	農業委員会委員の任命について 三野 治郎	R2. 6. 9	同 意
53	農業委員会委員の任命について 岡田 博美	R2. 6. 9	同 意
68	教育委員会委員の任命について 岩井 士月	R2. 9. 2	同 意
87	固定資産評価審査委員会委員の選任について 木村 欣一	R2. 12. 9	同 意

*** 契約（請負等） ***

議案番号	件名	議決日	結果
22	<p>令和元年度伊根漁港海岸保全施設整備工事変更請負契約の締結について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 契約の目的 令和元年度伊根漁港海岸保全施設整備工事 ・ 契約の方法 随意契約 ・ 契約金額 118,353,400円 (1) 当初契約金額 88,000,000円 (2) 増額契約金額 30,353,400円 ・ 契約の相手 宮津市字大島11番地の5 株式会社 井長組 	R2.3.4	原案可決
54	<p>伊根町行政情報配信システム屋外拡声局整備工事請負契約の締結について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 契約の目的 伊根町行政情報配信システム屋外拡声局整備工事 ・ 契約の方法 指名競争入札 ・ 契約金額 93,500,000円 ・ 契約の相手 大阪市北区堂島浜2丁目2番8号 西菱電機株式会社 大阪支社 	R2.6.18	原案可決
55	<p>物品購入契約の締結について（塵芥収集車）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 契約の目的 燃やすごみ収集塵芥車購入 ・ 契約の方法 指名競争入札 ・ 契約金額 9,163,000円 ・ 契約の相手 伊根町字本庄上1232番地 三野商会 	R2.6.18	原案可決
66	<p>令和元年度水産物供給基盤機能保全工事（第2防波堤）変更請負契約の締結について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 契約の目的 令和元年度水産物供給基盤機能保全工事（第2防波堤） ・ 契約の方法 随意契約 ・ 契約金額 65,865,800円 (1) 当初契約金額 57,200,000円 (2) 増額契約金額 8,665,800円 ・ 契約の相手 与謝野町字男山800番地の1 安田建設株式会社 	R2.9.2	原案可決

議案番号	件名	議決日	結果
67	<p>令和2年度伊根漁港海岸保全施設整備工事請負契約の締結について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 契約の目的 令和2年度伊根漁港海岸保全施設整備工事 ・ 契約の方法 指名競争入札 ・ 契約金額 87,780,000円 ・ 契約の相手 宮津市字鶴賀2166番地 宋徳建設株式会社 	R2.9.2	原案可決
86	<p>物品購入契約の締結について（タブレット端末購入）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 契約の目的 伊根町立小中学校タブレット端末購入 ・ 契約の方法 随意契約 ・ 契約金額 10,439,000円 ・ 契約の相手 福知山市字天田391番地の乙 株式会社堀通信 	R2.12.9	原案可決

*** その他 ***

議案番号	件名	議決日	結果
23	宮津与謝環境組合規約の変更について 宮津与謝環境組合事務所を新施設内に移転するため。	R2. 3. 4	原案可決
24	第6次伊根町総合計画について 伊根町における総合的かつ計画的な行政運営を図るため、第6次伊根町総合計画を定める。	R2. 3. 18	原案可決
42	伊根町農業委員会委員の任命につき認定農業者等が委員の過半数を占めることを要しない場合の同意について 農業委員会の委員に占める認定農業者に認定農業者に準ずるものを含めて過半数とする。	R2. 6. 9	同意
56	損害賠償の額の決定及び和解することについて 自動車事故の相手方との損害賠償の額を定め、和解する。	R2. 6. 18	原案可決
60	調停の申立てについて ア 本件土地の賃料は、令和元年10月18日以前の賃料と同額の年額5万円であることの確認を求める。 イ 本件土地の売渡しを求め、その前提として本件土地及び周囲土地の正確な測量の実施について協議したい。	R2. 7. 29	原案可決
84	京都府市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の増加及び京都府市町村職員退職手当組合規約の変更について 京都府市町村職員退職手当組合に相楽東部広域連合を加入させ、京都府市町村職員退職手当組合規約を変更する。	R2. 12. 9	原案可決
85	伊根町と宮津市との間の廃棄物処理に係る事務の委託の廃止について 伊根町と宮津市との間の廃棄物処理に係る事務の委託を廃止するため。	R2. 12. 9	原案可決

*** 専決（再掲） ***

議案番号	件名	議決月日	結果
26	専決処分の承認を求めることについて （令和元年度伊根町一般会計第5回補正予算）	R2.6.9	承認
27	専決処分の承認を求めることについて （令和2年度伊根町一般会計第1回補正予算）	R2.6.9	承認
28	専決処分の承認を求めることについて （伊根町町税条例等の一部改正）	R2.6.9	承認
29	専決処分の承認を求めることについて （伊根町消防団員等公務災害補償条例の一部改正）	R2.6.9	承認
30	専決処分の承認を求めることについて （伊根町国民健康保険税条例の一部改正）	R2.6.9	承認
31	専決処分の承認を求めることについて （伊根町介護保険条例の一部改正）	R2.6.9	承認
32	専決処分の承認を求めることについて （伊根町町税条例の一部改正）	R2.6.9	承認
33	専決処分の承認を求めることについて （伊根町国民健康保険条例の一部改正）	R2.6.9	承認
34	専決処分の承認を求めることについて （伊根町介護保険条例の一部改正）	R2.6.9	承認
35	専決処分の承認を求めることについて （伊根町後期高齢者医療に関する条例の一部改正）	R2.6.9	承認

*** 決 算 ***

議 案 番 号	件 名	議 決 日	結 果
61	令和元年度伊根町歳入歳出決算認定について <u>1. 伊根町一般会計</u> 収入済額 3, 766, 618, 659円 支出済額 3, 460, 032, 089円 差引残額 306, 586, 570円 うち明許繰越額 25, 337, 000円 うち事故繰越額 2, 852, 000円 <u>2. 伊根町国民健康保険特別会計</u> <u>(1) 事業勘定</u> 収入済額 318, 171, 761円 支出済額 317, 931, 998円 差引残額 239, 763円 <u>(2) 伊根診療所勘定</u> 収入済額 84, 443, 200円 支出済額 81, 090, 153円 差引残額 3, 353, 047円 <u>(3) 本庄診療所勘定</u> 収入済額 62, 260, 654円 支出済額 62, 183, 218円 差引残額 77, 436円 <u>3. 伊根町簡易水道特別会計</u> 収入済額 129, 027, 214円 支出済額 128, 806, 863円 差引残額 220, 351円 うち明許繰越額 105, 000円 <u>4. 伊根町下水道事業特別会計</u> 収入済額 132, 480, 967円 支出済額 132, 446, 696円 差引残額 34, 271円 <u>5. 伊根町財産区特別会計</u> 収入済額 1, 969, 020円 支出済額 1, 969, 020円 差引残額 0円	R2. 9. 18	認 定

<u>6. 伊根町介護保険特別会計</u>			
<u>(1) 保険事業勘定</u>			
収入済額	425,426,476円		
支出済額	405,807,711円		
差引残額	19,618,765円		
うち明許繰越額	2,794,000円		
<u>(2) 介護サービス事業勘定</u>			
収入済額	3,729,482円		
支出済額	612,630円		
差引残額	3,116,852円		
<u>7. 伊根町訪問看護事業特別会計</u>			
収入済額	27,752,651円		
支出済額	25,308,155円		
差引残額	2,444,496円		
<u>8. 伊根町後期高齢者医療特別会計</u>			
収入済額	37,657,537円		
支出済額	37,548,251円		
差引残額	109,286円		
<u>合 計</u>			
収入済額	4,989,537,621円		
支出済額	4,653,736,784円		
差引残額	335,800,837円		
うち明許繰越額	28,236,000円		
うち事故繰越額	2,852,000円		

令和2年度 伊根町一般会計当初予算の概要
(歳 入)

款	本年度 予算額 (千円)	前年度 予算額 (千円)	比 較 (千円)	構成比 (%)	
				本 年度	前 年度
1 町税	158,586	155,518	3,068	5.2	5.0
2 地方譲与税	15,859	13,321	2,538	0.5	0.4
3 利子割交付金	104	298	△194	0.0	0.0
4 配当割交付金	1,050	1,152	△102	0.0	0.0
5 株式等譲渡所得 割交付金	733	1,127	△394	0.0	0.0
6 法人事業税交付 金	518	0	518	0.0	0.0
7 地方消費税交付 金	31,597	35,181	△3,584	1.1	1.1
8 自動車取得税交 付金	1	6,097	△6,096	0.0	0.2
9 環境性能割交付 金	5,494	0	5,494	0.2	0.0
10 地方特例交付金	665	2,858	△2,193	0.0	0.1
11 地方交付税	1,376,000	1,320,000	56,000	45.4	42.8
12 交通安全対策特 別交付金	250	250	0	0.0	0.0
13 分担金及び負担 金	8,793	7,467	1,326	0.3	0.3
14 使用料及び手数 料	110,981	99,013	11,968	3.7	3.2
15 国庫支出金	289,938	295,620	△5,682	9.6	9.6
16 府支出金	189,069	194,778	△5,709	6.2	6.3
17 財産収入	4,222	4,258	△36	0.1	0.1
18 寄附金	16,300	12,300	4,000	0.5	0.4
19 繰入金	368,711	256,212	112,499	12.2	8.3
20 繰越金	20,000	20,000	0	0.7	0.7
21 諸収入	28,529	42,150	△13,621	0.9	1.4
22 町債	404,600	620,400	△215,800	13.4	20.1
歳 入 合 計	3,032,000	3,088,000	△56,000	100.0	100.0

(歳 出)

款	本年度 予算額 (千円)	前年度 予算額 (千円)	比 較 (千円)	本年度予算額の財源内訳			
				特定財源 (千円)			一般財源 (千円)
				国 府 支出金	地方債	その他	
1 議会費	44,828	44,878	△ 50	0	0	0	44,828
2 総務費	539,448	552,303	△ 12,855	91,924	55,500	55,782	336,242
3 民生費	554,408	541,687	12,721	122,925	0	14,667	416,816
4 衛生費	268,446	416,395	△ 147,949	4,253	91,000	14,289	158,904
5 労働費	5,000	5,000	0	0	2,000	0	3,000
6 農林 水産業費	397,225	416,321	△ 19,096	165,319	67,300	4,157	160,449
7 商工費	110,813	93,689	17,124	6,251	5,800	19,590	79,172
8 土木費	263,640	293,126	△ 29,486	64,915	38,800	109,479	50,446
9 消防費	203,403	108,197	95,206	0	103,200	9,366	90,837
10 教育費	200,947	189,995	10,952	23,420	1,000	2,312	174,215
11災害 復旧費	0	66,487	△ 66,487	0	0	0	0
12 公債費	440,012	355,638	84,374	0	0	0	440,012
14 予備費	3,830	4,284	△ 454	0	0	0	3,830
歳出合計	3,032,000	3,088,000	△ 56,000	479,007	364,600	229,642	1,958,751

*** 一般質問 ***

3月定例会	6月定例会	9月定例会	12月定例会	延人数	実人数
6人	4人	4人	4人	18人	7人

第1回定例会(3月)

傍聴人 1人

3月18日

質問議員	質問事項及び要旨
佐戸 仁志	Q 感染予防対策は
	A 現段階でマスク等の配布は考えていない
	問 中国で感染が始まった、コロナウイルス肺炎はあっという間に世界に広がり我々もいつ感染するかわからない状態となった。国も様々な政策を国民に要請し大混乱となっている。伊根町も多くの中国人観光客が訪れるが現在感染者はいないものと思われる。しかし感染予防はする必要がありマスクの装着、手洗い、アルコールによる消毒が有効であり、伊根町で備蓄しているマスク、アルコール等を妊婦の方、高齢者の希望者に配布し、感染者を出さない、感染者を抑える政策をしてはどうか、今回備蓄量が少ないと聞くが、マスク、アルコール等も安価で年数も長く備蓄出来、今後の事も考え町民全員に充分配布出来るよう備蓄してはどうか。
答 <町長> 伊根町で備蓄しているマスク、アルコール等は、医療従事者、感染症対応職員の感染を防ぎ、社会機能を停止させないようにすることを目的とし備蓄している。備蓄は社会機能を停止させない事が目的であり町内で感染者のない中、現段階での配布は考えていない。また、備蓄が少ないと意見されているが、備蓄は台風等の災害対策においては一定確保は出来ている。しかし、今回の新型コロナウイルスの感染症の観点からは十分な備蓄量はない。マスク、アルコール等の備蓄物品の内容、数量について再度検討を行い、感染予防に充分対応出来るよう体制を整えていく。	

質問議員	質問事項及び要旨
大谷 功	Q 町内の新型コロナウイルスの影響は
	A 現在1,600万円程度の損失
	問 爆発的拡大を続けている新型コロナウイルスによる肺炎の影響が、今、世界を震撼させている。観光客などの減少などで伊根町内の損失は。
	答 〈町長〉3月10日現在で、宿泊施設の予約キャンセル、伊根湾めぐりなどのツアーのキャンセルなどで総額1,600万円程度の損失との報告をうけている。
	問 町内での発生時、誰がどう行動するか、感染者の入院先等は、詳細にシミュレーションしておくことが大切。迅速的確な対応ができるよう整備してあるか。 また、各地でイベント等の中止がされているが、伊根町の基本的考えは。
	答 〈町長〉「伊根町新型インフルエンザ等対策行動計画」を策定している。 計画では、新型インフルエンザ等が発生した場合、実施体制や情報提供・共有、まん延防止、予防接種、町民生活及び地域経済の安定確保、調査監視・情報収集、医療の項目について、行政や医療機関、学校、その他関係機関の具体的な行動など詳細に定めており、感染拡大対策は整っている。 また、イベント等の開催の判断は、伊根町主催イベントの、参加者が特定される事業は、体温測定等健康観察、感染予防を徹底した上で実施している。成人式や卒業式等の行事は規模の縮小や、時間の短縮等により実施している。参加者が特定されない事業は、中止することとしている。
	問 新型コロナウイルス対応緊急資金が緊急に創設されたが、この制度に加えて伊根町による利子補給制度の検討が必要ではないか。
	答 〈町長〉先日、国が影響をうけた中小企業者に対する無利子、無担保の融資制度の創設を打ち出した。

質問議員	質問事項及び要旨
山根 朝子	<p>Q ICT化で視力は大丈夫か</p>
	<p>A 健康管理の体制をつくる</p>
	<p>問 政府は4月からの新学習指導要領全面実施に伴い、GIGAスクール構想を、打ち出している。これは2030年度までにすべての小・中・特別支援学校の校内情報共有の整備と児童生徒1人に1台のパソコン端末の整備を一体的に進めるものである。伊根町においても2020年度予算では学校ICT環境整備事業として410万2千円が計上され、電子黒板の導入と校務支援システムの導入が計画されている。</p> <p>ICTの活用は、より効果的な学習や遠隔地、病児・特別支援教育などの学習環境整備としてはメリットもあるが、授業のIT化により児童生徒の視力低下をはじめとした健康面での問題が懸念される。スマートフォンやタブレット端末の普及を背景に裸眼視力が1.0未満の子どもの割合が小中高を通して国内で過去最高を更新する中で、文科省は2020年春から眼科医と連携し、従来の「C」型マークの切れ目を答える視力検査から、器械で測定する検査を開始する。教育学習環境が大きく変わっていく中で、視力低下や姿勢の悪化など子どもたちの健康を守る取り組みを具体的にどのように進めていくのか。</p> <p>また、校務支援システムの導入で教職員の負担は軽減するとの説明だが、システムが軌道に乗るまでは、過剰な負担になるのではないか。教職員の健康管理についてもどのようにしていくのか。</p>
	<p>答 〈教育長〉今は、特別な対策は行っていないが、今後は連続した作業にならない工夫や、明るさの調整、目の疲れや症状の確認、こまめな視力検査、厚労省のガイドラインの活用など、子どもたちや教職員への健康管理を検討し実施していく。</p>

質問議員	質問事項及び要旨
中嶋 章	<p>Q 耕作地保全と獣害対策は</p>
	<p>A サルの全頭捕獲は不可能</p>
	<p>問 高齢化が進み個人の耕作放棄地が散見される。高齢に伴い体力的に維持困難になったり、獣害により耕作意欲の低下等の要因が考えられる。今後も耕作放棄地の増加が懸念される。田園風景、四季折々の花畑、野菜畑の風景はその土地で暮らす人々の豊かさを知るバロメーターである。高齢者には収穫する作物は楽しみであり生き甲斐につながる。また、収穫の一部が身近な場所で販売出来れば更に喜びとなる。獣害から守る対策として、昨年から調査員によるサルの位置情報をメール配信されているが登録数とその効果、今後の展開を伺う。サルの獣害から守る大胆な対策として全頭捕獲し飼育檻設置など踏み込んだ対策をしてはどうか。今後の耕作地保全策と合わせて見解を伺う。</p> <p>答 〈町長〉野生鳥獣被害対策は以下の3つの対策を行っている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 電気柵や金網柵により未然に防ぐ防除対策 2) 花火やモデルガンによる追い払い対策 3) 人間の生活圏内に侵入する悪質な個体に対する捕獲対策 <p>通称サルイチは追い払い対策であり登録数は33件で、効果については集落単位での追い払いはなく、もっと登録数を増やす段階である。今後、組織的な追い払いをする体制整備が必要と考えている。</p> <p>サルの捕獲は個体数調整計画に基づき実施しており、全頭捕獲は法令に照らし全く不可能。</p> <p>耕作放棄地対策は中山間地域直接支払交付金や多面的機能支払交付金を活用し集落景観維持の取り組みを行っている地域もあり、残す農地とあきらめる農地をしっかりと線引きし、残す取り組みの支援が必要と考えている。</p>

質問議員	質問事項及び要旨
和田 義清	Q 消防団の処遇改善を！
	A 消防団の意向に沿って検討する
	<p>問 当町に限らず全国的に見ても消防団の現状は少子高齢化、団員職業のサラリーマン化、生活の多様化等により、団員の確保が困難となりつつある。</p> <p>反比例して近年の自然災害発生は同時多発化する為に被害も広範囲に及ぶ。</p> <p>今後においては消防団の対応・役割がますます求められると予測する。</p> <p>地域や町の防災体制をより万全にする為には以下の点について町長の考えを問う。</p> <p>在住、在勤以外の町内出身者も団員にする考えは。</p>
	<p>答 〈町長〉 優位性の無い者を任命する考えは無い。ただし、『数年の短期間で再転入する見込みがある者で、平時の予防・警防活動に参加する意思のある者は1年間の猶予を設け、活動状況をにより判断する。』との取り扱いを例外的にしている。</p>
	<p>問 満50歳の定年年齢の引き上げは。</p>
	<p>答 〈町長〉 第2分団の現況は14名の欠員となっており、消防団の意向を確認し検討する。</p>
	<p>問 報酬費用弁償の増額は。</p>
	<p>答 〈町長〉 日頃の備えと出動のバランス配分を考えているので、近隣市町等の状況を勘案し検討する。</p>
	<p>問 消防団運営交付金の増額は。</p>
<p>答 〈町長〉 現在、増額の予定は無いが、生業に励みながら当町の安心・安全の為に献身的な活動を続ける団員に報いる為にも検討していきたい。</p>	

質問議員	質問事項及び要旨
松山 義宗	Q 空き施設の利活用について
	A 方策は地元と検討すべき
	<p>問 2005年朝妻小学校を伊根小学校と統合し、空き校舎の利活用としてリユースショップを運営している。また2014年に本庄中学校は伊根中学校と統合し、空き校舎の管理は来年度、草刈り業務のみとなっている。校舎利用に関しては検討課題が多くあり校舎を使用することは困難との結論に至ったとの答弁がある。グラウンドについては補助金が投入されていないため自由度があり、農業者の意見を幅広く聞き農業振興の拠点にできればとの答弁もある。廃校施設利活用検討委員会でも、解体やむなし、利活用の方策については地元とともに検討すべきとの結論に至ったことも承知している。利活用などは要検討であり解体を待つ負の遺産となっている。</p> <p>旧本庄中学校校舎は解体後の利活用検討も必要である。即座にできるものでもないことは承知しているが、今後は整理についての決断も必要となると考えられるが、今後の利活用について町長のビジョンをお伺いする。</p>
	<p>答 〈町長〉 廃校施設利活用検討委員会の結論を尊重しつつ地域の振興は、その特色を活かしたものしか成功しないと考えている。本庄地区の特色は農業である。大事なことは地元や農業者の思いである。地元または有志が中心となって、自分たちで地域の強みを活かして何かをやりたいと提案があれば、空き施設の利活用は先が見えてくるのではないか。空き施設を利用するために事業をはだてると、負の遺産になると困る。</p>

質問議員	質問事項及び要旨
佐戸 仁志	Q 新型コロナウイルス対策を
	A 公共工事は例年以上の発注をしている
	<p>問 新型コロナウイルスによる経済不況は日本全国に広がり、関西、京都府、感染者が出た京都府北部も同様である。宿泊業、飲食業など観光関連業者の売上減はもちろんの事、その業種の恩恵を受ける各業種共、打撃を受けている。町内の多くの方々の雇用先である土木、建設業者も町として支援する必要がある。中止になっている町主催の各種イベント、会議、研修等の経費を流用し、各地区区長協議会からの要望を受けた町道、側溝等の改修工事を地元業者に発注してはどうか。京都府北部不況の中、町内建設業者も同様に近隣市町の業者もうらやむ事業が伊根町にはある。開業支援事業、重伝建保存事業、移住促進住宅整備事業等の継続はもちろんの事、本年度までとなっている住宅改修助成金事業は支援に必要であり、コロナ不況が終息するまでの延長が必要ではないか。</p>
<p>答 〈町長〉本年度の当初予算における町内業者に発注する予算額は昨年度とほぼ同額であり、京都府全体の土木建築の事業費は前年比90%と落ち込んでいる中、丹後土木事務所管内では前年比109%と伸びており他圏域と比べれば大きな増加である。現時点での発注は、府職員のテレワークの関係で遅れている。イベントや会議費、研修費を流用してはといわれるが、財源は基金からの操入や府の助成金、起債等であり一般財源として残らない。住宅改修助成事業は現在3年間の延長としており本年度までとしたい。しかしコロナ禍の影響で改修を断念せざると得ない方もおられるかもしれない。今後充分検討し事業の延長を見極めていきたい。</p>	

質問議員	質問事項及び要旨
大谷 功	Q 「持続化給付金」、町の独自支援を
	A 別の支援策を検討したい
	<p>問 「持続化給付金」について、支給条件の減収額50%に達しない方も多くいると思う。</p> <p>減収額が、40%減でも、30%減でも経営が苦しいことには変わりはない。持続化給付金の対象とならない売り上げ減20%～50%未満の町内事業者等へ、一事業所にくらか金額を決めて（たとえば一律10万円）給付するような救済策が必要ではないか。</p>
	<p>答 〈町長〉減収額50%以上というが、本町の対象者は前年比80～90%減という方がほとんど。中には売り上げ0もある。そういった皆さんはまだまだ先は見えない。例年の売り上げに戻るには、ひょっとして数年要するかもしれない。</p> <p>このコロナ禍の中で、普通に仕事ができ70～80%の売り上げが維持できているのは御の字、逆に対象外となった方は不幸中の幸いであったのでは、と思ったりもする。別の支援策を検討したい。</p>
	<p>問 伊根町への影響は今後も継続的であり、完全回復するとしても年単位の時間が必要。そこで、営業が急激に改善しないと思われる町内商工団体を応援し支えるため、プレミアムクーポン券、商品券等を発行し、町民が町内業者を利用し、飲食し、宿泊し、町民が町内を再発見する取り組みをおこなってはどうか。</p> <p>伊根町の暮らしを支える、商工業者、農林漁業者、町も大きく支援をしてきたリーディング産業の観光業を衰退することのないよう、激励の意味で、思い切った支援をしていくことが大切。</p>
<p>答 〈町長〉プレミアムクーポン券、商品券を実施するには、券の印刷、販売・換金などの事務経費がかかり、かなり手間も必要である。また町民・生活者支援という意味では効果的と思うが、「商工団体の応援」となると時間もかかり即効性はなく、普段の生活費の置き換えとなれば効果も薄い、少し方法がちがうのではないかとも思う。</p>	

質問議員	質問事項及び要旨
山根 朝子	Q 新型コロナによる介護事業所への支援は
	A 相談して最善の方法で対応する
	<p>問 新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、様々なイベントや老人会、サロン、健康教室などの活動が休止になった。幸いにも町内での感染者の発生はなかったが、介護サービスに係わる事業所の皆さんは感染予防に神経をとがらせ、精神的なストレスは大きかったと聞く。介護サービスの縮小や休止はなかったが、感染リスクを避けるため、利用を控える人や施設側の利用制限、マスクや消毒液などの消耗品の増加による出費は経営に影響を与えている。町民にとってなくてはならない介護・福祉事業所の経営困難に町としても支援の手を差し伸べるべきではないか。</p>
	<p>答 〈町長〉 町内の介護・福祉事業所は事業所の徹底した感染予防策により、ほぼ通常通りに実施されている。マスクや消毒液なども確保はできている。利用控えや利用制限も少人数と聞いており、経営的な影響はないと考える。福祉事業への補助は「人件費補助方式」で、4月、5月に行われなかった事業への人件費相当は保障することとした。その時その時、相手方と相談し最善の対応をしていく。</p>
	<p>問 自粛生活を要請される中で高齢者の体力低下や、気持ちの塞ぎ込みなど、心身の問題が懸念される。伊根町社協でもハガキや訪問による一人暮らし高齢者へのアンケート調査を行ったと聞く。町として高齢者の心身の健康維持へのサポートを考えているのか。</p>
<p>答 〈町長〉 この間、看護師・保健師による電話での健康管理を行ってきた。訪問看護の際にも家族の異変に気づき、早期の対応ができた事例もある。今後も福祉事業所との連携を図り、個々に寄り添った対応を続けていく。</p>	

質問議員	質問事項及び要旨
長谷川貴之	<p>Q 新型コロナウイルス感染症対策への支援は</p>
	<p>A 経済対策のため町も独自の支援策を実施している</p>
	<p>問 新型コロナウイルス感染症で、基幹産業である農林水産業や、観光産業をはじめ、多くの業種において経済損失がある。漁業者も操業の継続はしていたが、魚価の低迷、流通制限による販路断絶があった。個人も休業・休職による所得減、子育て世代も休校による家庭への負担、学生が下宿等されている家庭も経済的負担があった。町は、緊急事態宣言期間中の来町と帰省自粛を発出した。国・府の休業要請以外の業種でも、町内事業者は自主的に営業自粛せざるを得ない状況であった。府の休業要請対象事業者支援給付金等があるが、町内の食事提供施設の殆どが、支給要件にある通常の営業時間が短いため、支給要件を満たせず給付対象外となった。町が、来町の自粛要請を発出したことで、休業要請対象施設に該当しない宿泊施設・飲食店・商業施設等も営業自粛で来町防止に協力した。町民一丸となり感染拡大防止策に取り組んだ以上、多種多様な経済支援や支援措置を検討すべきではないか。新型コロナウイルス感染症による影響や損失額等の調査で、現状を把握すべきではないか。現段階で町独自の支援策をどのように考えているか。新しい生活様式実践についての対策、新型コロナウイルス第2波襲来を見据えた方策について伺う。</p> <p>答 〈町長〉町は4月22日に不要不急の来町自粛のお願いを發した。その時点ですでに、町内の宿泊施設や観光関連施設は、営業の自粛や自主休業を決定していた。各事業者の判断で自主休業されたので町に責任はない。町としても京都府の休業要請支援給付金には、府と同額を上乗せしている。農林水産業においても緊急支援事業があり、町も同額を上乗せしている。農林漁業者であれば誰でも対象となる。大学生には伊根町奨学金条例を改正し増額し、他の奨学金との併用も可とした。個別事業者への支援は国、府で行われているため、今、町が行う支援は、個別事業者に対するものでなく観光業、飲食業などの業種全体への支援である。6月補正での関係予算は、観光協会への誘客対策事業の委託など、観光業、1次産業を盛り上げるための支援と位置付けている。国の第2次補正予算の臨時交付金は専決ではなく、臨時議会を開催します。影響額、損失額については、事業者がキャンセルをもとに観光協会に報告があったもので、調査のやりようがなく、観光協会の現状把握が限界かと思っている。新しい生活様式の実践、第2波襲来を見据えた方策は、何も特別なことをする必要なし。基本的な感染予防対策を行うこと。保健所等の相談、PCR検査、入院隔離等の医療体制については京都府に充実強化をお願いしている。第2波が来ても学校を閉めたり、町をロックダウンさせることの無き様に対応を目指す。</p>

質問議員	質問事項及び要旨
佐戸 仁志	<p>Q 地元住民による有害鳥獣駆除を</p>
	<p>A 免許を取得し、市長に許可をもらえば可能</p>
	<p>問 年々猪、鹿、猿による農作物への被害が増えつづけている。伊根町役場近隣の田畑も年々被害が増え昨年から町に願ひし、猪の檻を設置して頂いた。しかし被害の多くは日出川対岸の宮津市地番であり、今年、宮津市に檻を設置して頂いたが、多くの猪が捕獲されても猪被害は減らず、多くの檻の設置を望む耕作者の声がある。町の指導で檻設置のライセンスを取った者、取る予定の者もいるが、伊根町民は宮津市地番に設置、管理は出来ない。日出地区のような宮津市地番に地主、耕作者共伊根町民というような地域は珍しく、両市町の話し合いで新しいルールを作り、地元住民による有害鳥獣駆除が出来ないか。</p>
	<p>答 〈町長〉有害鳥獣を捕獲するためには事前の許可が必要であり、猪については京都府知事の許可が必要である。京都府の事務処理の特例により市町村に事務が委任されており、各市町村において受付し、審査を行い許可証の発行を行っている。よって宮津市において捕獲するためには宮津市長の許可が必要となり、宮津市猟友会に許可をしている。しかしその土地の方がわなの許可を取得し伊根町の仲介の元、宮津市長に申請し、許可を出してもらう事は可能である。この場合、檻は伊根町又は伊根町野生鳥獣被害対策協議会が導入し、貸与できる。</p>

質問議員	質問事項及び要旨
大谷 功	Q 新型コロナ相談窓口の設置を
	A しなくて良いと考える
	<p>問 町民は、コロナウイルスに感染した場合のことを不安に思っている。陽性が確定した場合には京都府や町行政による対応になると思う。たとえば、家族が感染した場合、子供は、親せき等に預けることになると思うが、預け先にお年寄や、乳幼児がいたりする場合、二の足を踏むことは確実。要介護の親は誰がどこで介護するのか、感染した場合どこに入院することになるのか、無症状の陽性者はどこで生活するのか等、一定程度予備知識を持って、いざという時のために、備えておくことも必要。</p> <p>住民の不安に対処する周知等の取り組みの強化が必要であるととも、まだまだ先が見通せない営業、生活不安、心配に対応する、伊根町でのコロナ相談窓口の設置が必要ではないか。</p>
	<p>答 〈町長〉 ワンストップで対応できることは相談者の利便性からすると望ましいが、結局それぞれ専門分野で対応することになると考えると窓口は設置しなくて良いと考える。</p> <p>どの課に相談すればよいか判らないときは、保健福祉課に相談してほしい。</p> <p>もしもの時にどうするかについては、様々なケースを家族で話していただいて、お困りの事があれば役場に相談してほしい。</p>
	<p>問 町内での陽性者が発生した場合、感染した人が差別的な扱いを受けないように配慮しながら、伊根町は情報公開をどこまでおこなうのか。</p>
	<p>答 〈町長〉 公表は府から「伊根町、何十代、何人」として発表され、町としてはあえて発表しない。しかし、小さな町では、感染者が特定される可能性が高いので、公表の方法を変えなければならない場合も想定される。感染者に非はない。正しく恐れるための情報発信に努める。</p>

質問議員	質問事項及び要旨
山根 朝子	<p>Q 介護事業所の報酬上乗せ分の補助を</p>
	<p>A 臨時的な制度に従っていく</p>
	<p>問 新型コロナの影響で、デイサービスなどは利用控えが見られ、全国的には減収となった介護事業所が多かった。その減収分を補うために厚生労働省は6月1日に報酬の上乗せを認める特例の通知を出した。この通知は利用者の同意があれば、介護事業所は提供したサービス時間に上乗せして、介護報酬を認めることができるというものである。</p> <p>「認知症の人と家族の会」の新潟県支部は、「利用してもいないサービスの対価をどうして支払わなければならないのか」と国に撤回を求める要望書を提出している。また、この措置がいつまで続くのか不明であることも問題である。事業所から上乗せの話をされれば、町内のデイサービスの利用者もほとんどの人が同意しているのではと推測する。</p> <p>利用者の負担はどれくらい増えることになるのか。実態を伺いたい。</p> <p>また、長野県飯田市では、利用者負担分を市が補助金として援助するという対応をしている。伊根町においても介護事業所と高齢者を守る立場から支援の検討をするべきではないか。</p> <p>答 〈町長〉厚生労働省の6月1日の発出文書は新型コロナウイルス感染症拡大防止への対応を適切に評価する観点からのもので、本質的には利用者の利用控えや施設の消毒等への減収への対応と思う。町内では長寿苑のデイサービス、ショートステイが対象になる。</p> <p>利用者69人に通知し、60人から回答を得、56の方が同意されたと聞く。デイサービスに限っていえば、同意された方は平均の介護度が要介護1、2で、平均利用が週2回であることから、利用者の負担増額は月300円程度といえる。同意すれば増額、同意しなければ今まで通りの負担でサービスが受けられるというのは確かに不公平だが新型コロナウイルス感染症感染拡大防止への対応を、適切に評価する観点から臨時的に厚生労働省が整えた制度であるので、その制度に従うのが現状である。</p>

質問議員	質問事項及び要旨
中嶋 章	<p>Q 今シーズンのインフルエンザワクチンの確保量は大丈夫か</p>
	<p>A 接種希望者には調達する</p>
	<p>問 コロナ禍、先行き出口が見えない新型コロナウイルス感染拡大が猛威をふるっている。国内では春の第一波の感染拡大により緊急事態宣言が発せられた時は経済活動停止状態が続き、人々の行動制限を緩めるとたちまち第二波が感染拡大している。本町では来訪者には来町自粛要請や住民に対しては感染予防徹底の底呼びかけの効果で幸いにも新型コロナウイルスの持ち込みや感染者の報告はされていない。また、少しずつだが新型コロナウイルスに対する対処がわかってきたのではと思われる。人との接触の際には距離を置きマスクの着用、手のアルコール消毒、集団での3密の回避により感染予防が有効だとわかってきた。いまだ本町において感染報告がないのはこうした住民の感染予防行動が結果として現れているのではないか。しかし夏休み期間以降観光客の来訪が増えつつあり、活気を喜びつつ、目に見えない新型コロナウイルスに不安を感じている。これから秋の観光シーズンを控え、多くの人出が予想され、感染のリスクが心配されている。季節性インフルエンザの流行と重なる時期を迎え、コロナ感染、風邪、インフルエンザの初期症状はよく似ると聞く。全住民に早期の計画的なインフルワクチン接種の必要性を感じる。近年のインフルエンザ感染者数、インフルエンザワクチン接種者数をお聞きする。2回の接種が有効と感じるが、希望すれば全住民のワクチン確保は大丈夫か。早期の接種体制について、町の方針をお伺いする。</p>
<p>答 〈町長〉インフルエンザ予防接種体制は10月より高齢者や医療従事者、妊婦、乳幼児、小学低学年の接種を優先接種の方向である。昨年の予防接種率は約50%あり、約12名が罹患された。ワクチン確保量は昨年並みの確保の予定をしているが全国的に不足が予想され、すべての住民の供給量確保は難しい状況。法定接種は3密を避けて各診療所で10月初旬より12月初旬にかけて実施予定。昨年並みの1,100人分を確保し、積極的に周知を図るが予定を超える要望があれば若干遅れてでも出来る限り調達したい。</p>	

質問議員	質問事項及び要旨
佐戸 仁志	<p>Q 釣客との共存が必要では</p>
	<p>A 漁業者、地域住民、釣客等意見を聞き、対策を検討する</p>
	<p>問 コロナ禍の中、屋外で密にならない釣りがブームとなっている。伊根地区でも多くの釣客が来町し町営駐車場は一杯となり、亀島地区では路上駐車、車のUターン、離合等で多くのトラブルが発生している。町営駐車場護岸は漁港施設であり、漁業者と釣客とのトラブルも多くある。カルビ海岸のように釣客の車を締め出しても自転車、歩きで来るという「いたちごっこ」となっている。多くの敷地をもつ漁協の一部を有料駐車場とし、護岸の一部を開放してもらおう。伊根郵便局付近に有料駐車場を作り亀島地区への観光客の車の進入を規制する等、排除ばかり考ず、観光資源とし利用し、共存する政策も必要ではないか。</p>
	<p>答 〈町長〉釣客に対しマナーの啓発は看板を設置し行っている。違法駐車対策は町営駐車場を整備し、府道沿いに進入禁止ポールを多く設置し対策している。しかし最終解決として多くの駐車場を作る事だと思っている。護岸からの釣りは漁業活動に支障のない限り自由であり、釣客を排除する事はいたちごっこで現実にそぐわないと思っている。地域からの要望があれば駐車場設置を考えたい。漁業者、地域住民、釣客それぞれに意見があろうと思う。各方面の意見を頂戴し三方よしの対策を検討していきたい。</p>

質問議員	質問事項及び要旨
大谷 功	Q 農業の振興方策は
	A 懇談会を開催し農政に活かしたい
	<p>問 伊根町の農業は、水稻、そば等の土地利用型農業と、みず菜、九条ネギなどの施設園芸中心の集約型農業と畜産との3つに分けられる。近年は施設園芸の増加と新規就農の増加、筒川そばの作付推進、農業法人の設立等で耕作放棄地の急激な増加もなく水田利用が進んできた。しかし、町内各集落の状況を見ると今後も今の状況で推移できることは望めない。農地を守るには、現状では、施設園芸を充実しつつ、そばの作付け推進、米の有利販売で農業を推進していくしかないが、そばの作付は何処まで伸ばせると考えているか。また、米の有利販売について、有機栽培などの生産技術の統一で伊根ブランド米を作り、有利な価格で販売できるような研究が早急に必要ではないか。その体制作りが急務。農業者の意見を聞く場を設けて、町としての方向性を探ってみるのはどうか。今後の農業振興策について町長の考えを伺う。</p>
	<p>答 〈町長〉そばの作付は、近年は15ヘクタールと横ばいで推移している。(株)筒川そばでは、毎年7～8トンは確保したいと聞いているが、まだまだ需要はあり、今の倍、30ヘクタールくらいは作付可能と思う。</p> <p>ブランド米については、丹後では「京都丹後産コシヒカリ」が銘柄として定着しており、伊根産をブランド化せずとも丹後産として一定のブランド化は出来ている。</p> <p>農地を守るために農産物の6次産業化と、残す農地とあきらめる農地の線引きをしっかりと、残すほうへの取り組み支援の充実に努める。</p> <p>また農業者との懇談の場は、ほとんどなく、これからは農業者等との懇談会を開催し、多くの意見を頂戴し農政に活かしたい。</p> <p>農業のみならず漁業も含め、伊根町の基幹産業である農林水産業をベースに豊かな生計が立てられるよう、今後は今まで以上に皆さんと共に考え、振興発展に努めたい。</p>

質問議員	質問事項及び要旨
山根 朝子	Q 「いねばん」の有効活用を
	A 利用に関するアンケートを行い課題を探る
	<p>問 これまでの無線放送では放送の聞き逃しや音声のみの情報で、わかりにくいという問題があったが、4月から運用されている「いねばん」は、画面のクリックで何度でも確認ができ、視覚情報によりわかりやすくなった。しかし、「いねばん」の機能をしっかりと活用できているのかは疑問である。操作の仕方がわからない住民もいるのではないかと推察する。実際にタブレットを触ったことがないという方や、「本文」を確認したことはないという方もおられる。運用に関する住民の状況を把握しているのか、問題点をつかんでいるのか、また、対策を考えているのか。今後の「いねばん」の活用についての考えを伺う。</p>
	<p>答 〈町長〉町からの配信で「詳しくは本文をご確認ください」というお知らせが多いという指摘は頂いている。改善を検討したい。導入から1年を経過する中、利用状況に関するアンケート調査を行い、課題や問題点を把握する。住民の皆さんに使いこなしてもらってこそその「いねばん」であるので、ニーズに合わせた対応を考えている。「いねばん」の今後の活用については年明けから機種を更新を行う（製造メーカーの都合によるもので町の負担はない）。最新のものになる。最新端末にはWEB通信アプリZOOM（ズーム）が全機種に装備される。会議のあり方など、これまでにない活用が考えられる。便利な利活用を探っていくがそれに伴う経費負担も考えなければならない。住民生活の利便性向上のための活用を探っていく。</p>

質問議員	質問事項及び要旨
松山 義宗	Q 伊根町立保育園の現状と今後は
	A 育児不安の解消に力を入れていく
	問 当該町は過去において町立保育園は4月、10月入所が可能であったが、現在は4月入所のみとなっているが、その理由を入所前の対象保護者に説明しているのか
	答 〈町長〉現在の入所条件については対象家庭の皆さんに事前に広報し、十分承知頂いているものと認識している。入所前の対象家庭に、過去の入所条件やその変遷を説明することはない。
	問 伊根町として保育士の確保はどのような努力をしているのか。
	答 〈町長〉来年4月採用に向け募集を行い、先日、1次試験を実施したところである。更には、会計年度任用職員を採用するなど保育士を確保し、体制を整え運営していく。
	問 何事につけても時代の流れで広域連携、広域協定が叫ばれているが、保育に関しても0歳児からの広域入所の考えはあるか。
	答 〈町長〉伊根町では0歳のお子さんを保育対象としていないため、私立はともかく、公立では0歳児保育を実施している他市町の保育所に本町の0歳児の保育をお願いすることはできない。保育所に入所されていない子どもやその親を対象として、子育て支援センター「ぼれぼれ」を開設し、親同士の交流ができる場の設定、保育士、保健師による育児不安の解消にも努めている。

*** 議会関係 ***

意見書

意見書 番号	件名	議決日	結果
1	新型コロナウイルス感染症対策に関する意見書	R2.3.18	原案可決
2	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	R2.9.18	原案可決

発議なし

*** 請願書 ***

意見書 番 号	件 名	議決日	結 果
1	加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助 制度の創設に関する請願書 請願者 全日本年金者組合 宮津・与謝支部 支部長 拝野宗只 新日本婦人の会 伊根支部 支部長 増田玲子 宮津・与謝社会保障推進協議会 代表 野村優子 照会議員 中嶋 章 山根 朝子	R2.6.18	不採択

*** 陳情・要望 ***

件 名	提 出 者	配付日
部落差別の解消の推進に関する法律 に伴う国が行い実態調査に関する陳 情書	京都地域人権運動連合会 執行委員長 山川 明仁	R2.3.4
非核・平和施策に関する要望書	原水爆禁止国民平和進行 京都実行委員会代表 梶川 憲	R2.9.2
国民のいのちと健康を守るために医 療機関や介護施設・事業所に大規模 な財政支援を求める陳情書	京都医療労働組合連合会 執行委員長 勝野 由起恵	R2.9.2
安全・安心の医療・介護の実現と国 民のいのちと健康を守るための陳情 書	京都社会保障推進協議会 議長 渡邊 賢治	R2.12.9
関西電力の老朽原発に係る要望書	老朽原発うごかすな！実行 委員会 代表 木原 壮林	R2.12.9

議 会 日 誌

年月日	事 件 名 (内容)	開 催 場 所	出 席 者
令和2年 1月6日	議長新年挨拶回り (丹後管内)	京丹後市 宮津市	上辻議長 濱野副議長
1月7日	議長新年挨拶回り (京都府庁)	京都市	濱野副議長
1月8日	広報特別委員会	伊根町役場	大谷委員長 佐戸副委員長 長谷川委員 和田委員
1月10日	令和2年第1回京都府市町村議 会議員公務災害補償等組合議会 定例会	京都市	上辻議長
1月10日	京都府町村議会議長会令和2年 第1回議長会議	京都市	上辻議長
1月12日	伊根町出初式	ほっと館	上辻議長 濱野副議長 松山議員 佐戸議員 長谷川議員 中嶋議員 山根議員 大谷議員
1月15日	広報特別委員会	伊根町役場	大谷委員長 佐戸副委員長 長谷川委員 和田委員
1月15日	産業建設委員会	ほっと館	佐戸委員長 大谷副委員長 長谷川委員 上辻委員
1月21日	例月出納検査	伊根町役場	和田議員
1月22日	丹後二市二町議長会打ち合せ	伊根町役場	上辻議長
1月23日	宮津与謝環境組合例月出納検査	与謝野町	濱野副議長
1月28日	関西電力来訪	伊根町役場	上辻議長
1月28日	丹後二市二町議長会	ほっと館	上辻議長 濱野副議長

年月日	事 件 名 (内容)	開 催 場 所	出 席 者
1月29日	第6次伊根町総合計画審議会	ほっと館	上辻議長 佐戸議員 山根議員
1月30日	京都府後期高齢者医療広域連合 議会全員協議会	京都市	上辻議長
2月3日	京都府町村監査委員協議会第2 1回定期総会	京都市	和田議員
2月4日	京都地方税機構議会定例会	京都市	濱野副議長
2月5日	京丹後市「市民と議会の懇談 会」視察	京丹後市	濱野委員長 大谷副委員長 長谷川委員 中嶋委員 山根委員 和田委員
2月7日	京都府後期高齢者医療広域連合 議会定例会	京都市	上辻議長
2月10日	京都府議会・市町村議会正副議 長合同研修会	京都市	上辻議長 濱野副議長
2月18日	宮津与謝環境組合例月出納検査	与謝野町	濱野副議長
2月20日	宮津与謝消防組合議会定例会	宮津市	上辻議長 松山議員
2月20日	関西電力来訪	伊根町役場	上辻議長 濱野副議長
2月21日	宮津与謝環境組合議会定例会	与謝野町	濱野副議長 山根議員
2月21日	京都府町村議会議長会第70回 定期総会	京都市	上辻議長
2月21日	議会運営委員会	ほっと館	濱野委員長 松山副委員長 和田委員 大谷委員 佐戸委員 上辻議長
2月25日	例月出納検査	伊根町役場	和田議員
2月27日	宮津与謝広域ごみ処理施設火入 れ式	宮津市	上辻議長 濱野副議長 山根議員

年月日	事 件 名 (内容)	開 催 場 所	出 席 者
3月4日	第1回定例会（招集日）	ほっと館	全議員
3月4日	全員協議会	ほっと館	全議員
3月4日	議会活性化特別委員会	ほっと館	全議員
3月4日	総務委員会	ほっと館	松山委員長 山根副委員長 和田委員 濱野委員 中嶋委員
3月4日	産業建設委員会	ほっと館	佐戸委員長 大谷副委員長 長谷川委員 上辻委員
3月5日	第6次伊根町総合計画審議会	ほっと館	上辻議長 濱野副議長 佐戸議員 山根議員
3月6日	全員協議会	ほっと館	全議員
3月11日	第1回定例会（2日目）	ほっと館	全議員
3月13日	伊根中学校卒業証書授与式	伊根中学校	上辻議長 濱野副議長
3月15日	伊根町成人式	ほっと館	上辻議長
3月18日	第2回定例会（最終日）	ほっと館	全議員
3月18日	全員協議会	ほっと館	全議員
3月18日	宮津与謝消防組合消防ポンプ車 お披露目会	伊根町役場	全議員
3月18日	産業建設委員会	ほっと館	佐戸委員長 大谷副委員長 長谷川委員 上辻委員
3月23日	伊根町立小学校卒業式	伊根小学校 本庄小学校	上辻議長 濱野副議長
3月23日	例月出納検査	伊根町役場	和田議員
4月1日	広報特別委員会	ほっと館	大谷委員長 佐戸副委員長 長谷川委員 和田委員
4月6日	宮津与謝消防組合来訪	伊根町役場	上辻議長

年月日	事 件 名 (内容)	開 催 場 所	出 席 者
4月7日	広報特別委員会	伊根町役場	大谷委員長 佐戸副委員長 長谷川委員 和田委員
4月7日	伊根町立小学校入学式	伊根小学校 本庄小学校	上辻議長 濱野副議長
4月8日	伊根中学校入学式	伊根中学校	上辻議長 濱野副議長
4月14日	広報特別委員会	伊根町役場	大谷委員長 佐戸副委員長 長谷川委員 和田委員
4月21日	宮津与謝環境組合例月出納検査	宮津市	濱野副議長
4月22日	例月出納検査	伊根町役場	和田議員
5月1日	与謝野町議会正副議長来訪	伊根町役場	上辻議長
5月19日	宮津与謝環境組合例月出納検査	宮津市	濱野副議長
5月20日	京都丹後鉄道利用促進協議会監 査	伊根町役場	上辻議長
5月22日	宮津与謝消防組合議会臨時会	宮津市	上辻議長 松山議員
5月26日	例月出納検査	伊根町役場	和田議員
5月26日	京丹後市議会正副議長来訪	伊根町役場	上辻議長
6月2日	議会運営委員会	ほっと館	濱野委員長 松山副委員長 和田委員 大谷委員 佐戸委員 上辻議長
6月3日	京都府町村議会議長会三役会	京都市	上辻議長
6月9日	第2回定例会（招集日）	ほっと館	全議員
6月9日	全員協議会	ほっと館	全議員
6月9日	議会活性化特別委員会	ほっと館	全議員
6月9日	総務委員会	ほっと館	松山委員長 山根副委員長 和田委員 濱野委員 中嶋委員

年月日	事 件 名 (内容)	開 催 場 所	出 席 者
6月9日	産業建設委員会	ほっと館	佐戸委員長 大谷副委員長 長谷川委員 上辻委員
6月16日	宮津与謝環境組合例月出納検査	宮津市	濱野副議長
6月18日	第2回定例会（最終日）	ほっと館	全議員
6月18日	全員協議会	ほっと館	全議員
6月18日	議会活性化特別委員会	ほっと館	全議員
6月18日	総務委員会	ほっと館	松山委員長 山根副委員長 和田委員 濱野委員 中嶋委員
6月18日	産業建設委員会	ほっと館	佐戸委員長 大谷副委員長 長谷川委員 上辻委員
6月23日	例月出納検査	伊根町役場	和田議員
6月30日	新型コロナウイルス感染症対策 への対応に関する要望書提出	伊根町役場	上辻議長 松山委員長 佐戸委員長
6月30日	広報特別委員会	伊根町役場	大谷委員長 佐戸副委員長 長谷川委員 和田委員
7月3日	京都府町村議会議長会三役会	京都市	上辻議長
7月5日	宮津与謝環境組合クリーンセン ター竣工式	宮津市	上辻議長 濱野副議長 山根議員
7月7日	決算審査	伊根町役場	和田議員
7月8日	広報特別委員会	伊根町役場	大谷委員長 佐戸副委員長 長谷川委員 和田委員
7月14日	決算審査	伊根町役場	和田議員

年月日	事 件 名 (内容)	開 催 場 所	出 席 者
7月15日	広報特別委員会	伊根町役場	大谷委員長 佐戸副委員長 長谷川委員 和田委員
7月16日	決算審査	伊根町役場	和田議員
7月21日	宮津与謝環境組合例月出納検査	宮津市	濱野副議長
7月21日	例月出納検査	伊根町役場	和田議員
7月21日	決算審査	伊根町役場	和田議員
7月22日	宮津市議会来訪	伊根町役場	上辻議長 濱野副議長
7月22日	関西電力来訪	伊根町役場	上辻議長 濱野副議長
7月29日	議会運営委員会	ほっと館	濱野委員長 松山副委員長 佐戸議員 大谷議員 和田議員 上辻議長
7月29日	第1回臨時会	ほっと館	全議員
8月6日	京都府町村議会議長会議	京都市	上辻議長
8月6日	広報特別委員会	伊根町役場	大谷委員長 佐戸副委員長 長谷川委員 和田委員
8月7日	京都地方税機構定例会	京都市	濱野副議長
8月18日	宮津与謝環境組合例月出納検査	宮津市	濱野副議長
8月19日	宮津与謝消防組合来訪	伊根町役場	上辻議長
8月20日	京都府後期高齢者医療広域連合 議会全員協議会	京都市	上辻議長
8月25日	例月出納検査	伊根町役場	和田議員
8月25日	府政懇談会	京都市	上辻議長
8月25日	決算審査意見書取りまとめ	ほっと館	和田議員
8月26日	決算審査意見書提出	伊根町役場	和田議員

年月日	事 件 名 (内容)	開 催 場 所	出 席 者
8月26日	議会運営委員会	ほっと館	濱野委員長 松山副委員長 佐戸議員 大谷議員 和田議員 上辻議長
8月26日	関西電力来訪	伊根町役場	上辻議長 濱野副議長
8月27日	宮津与謝消防組合議会臨時会	宮津市	上辻議長 松山議員
8月28日	京都府後期高齢者医療広域連合 議会定例会	京都市	上辻議長
9月2日	第3回定例会（招集日）	ほっと館	全議員
9月2日	議会活性化特別委員会	ほっと館	全議員
9月2日	総務委員会	ほっと館	松山委員長 山根副委員長 中嶋委員 和田委員 濱野委員
9月2日	産業建設委員会	ほっと館	佐戸委員長 大谷副委員長 長谷川委員 上辻委員
9月4日	全員協議会	ほっと館	全議員
9月9日	第3回定例会（2日目）	ほっと館	全議員
9月15日	宮津与謝環境組合例月出納検査	宮津市	濱野副議長
9月18日	第3回定例会（最終日）	ほっと館	全議員
9月23日	例月出納検査	ほっと館	和田議員
9月29日	広報特別委員会	伊根町役場	大谷委員長 佐戸副委員長 長谷川委員 和田委員
10月2日	伊根町国民健康保険運営協議会	ほっと館	松山議員 山根議員 和田議員

年月日	事 件 名 (内容)	開 催 場 所	出 席 者
10月7日	広報特別委員会	伊根町役場	大谷委員長 佐戸副委員長 長谷川委員 和田委員
10月13日	広報特別委員会	伊根町役場	大谷委員長 長谷川委員 和田委員
10月14日	伊根町国民健康保険運営協議会 答申	伊根町役場	松山議員
10月16日	戦没者追悼式	ほっと館	上辻議長
10月20日	宮津与謝環境組合例月出納検査	宮津市	濱野副議長
10月20日	宮津与謝環境組合議会定例会	宮津市	濱野副議長 山根議員
10月21日	宮津与謝消防組合議会定例会	宮津市	上辻議長 松山議員
10月21日	例月出納検査	伊根町役場	和田議員
10月23日	京都府北部五市議会連絡協議会 意見交換会	宮津市	上辻議長
10月29日	関西電力来訪	伊根町役場	上辻議長
11月16日	議会運営委員会	ほっと館	濱野委員長 松山副委員長 佐戸委員 大谷委員 和田委員 上辻議長
11月16日	第2回臨時会	ほっと館	全議員
11月17日	宮津与謝環境組合例月出納検査	宮津市	濱野副議長
11月20日	会派長会議	伊根町役場	松山議員 大谷議員 和田議員
11月24日	例月出納検査	伊根町役場	和田議員
11月24日	京都府町村議会議長会三役会議	東京都	上辻議長
11月25日	町村議会議長全国大会	東京都	上辻議長
11月27日	京都府町村議会議長会臨時総会	京都市	上辻議長

年月日	事 件 名 (内容)	開 催 場 所	出 席 者
12月2日	議会運営委員会	ほっと館	濱野委員長 松山副委員長 佐戸委員 大谷委員 和田委員 上辻議長
12月2日	全員協議会	ほっと館	全議員
12月9日	第4回定例会（招集日）	ほっと館	全議員
12月9日	総務委員会	ほっと館	松山委員長 山根副委員長 中嶋委員 上辻委員 濱野委員
12月9日	産業建設委員会	ほっと館	佐戸委員長 大谷副委員長 長谷川委員 和田委員
12月9日	広報特別委員会	ほっと館	松山委員長 山根副委員長 中嶋委員 上辻委員
12月9日	議会運営委員会	ほっと館	上辻委員長 松山副委員長 和田委員 大谷委員 佐戸委員
12月11日	京都地方税機構来訪	伊根町役場	上辻副議長
12月14日	宮津与謝消防組合高規格救急自動車受納式	宮津市	濱野議長
12月14日	正副議長挨拶回り	京丹後市 宮津市 与謝野町	濱野議長 上辻副議長
12月15日	宮津与謝環境組合例月出納検査	宮津市	濱野議長
12月15日	正副議長挨拶回り	町内	濱野議長 上辻副議長
12月18日	第4回定例会（最終日）	ほっと館	全議員
12月18日	全員協議会	ほっと館	全議員

年月日	事 件 名 (内容)	開 催 場 所	出 席 者
12月18日	議会活性化特別委員会	ほっと館	全議員
12月18日	総務委員会	ほっと館	松山委員長 山根副委員長 中嶋委員 上辻委員 濱野委員
12月18日	産業建設委員会	ほっと館	佐戸委員長 大谷副委員長 長谷川委員 和田委員
12月20日	山陰近畿自動車道早期実現促進大会	京丹後市	濱野議長 上辻副議長 中嶋議員
12月22日	例月出納検査	伊根町役場	和田議員
12月23日	京都府後期高齢者医療広域連合来訪	伊根町役場	濱野議長